

# ◆地区指導者育成セミナー

〔講話「今までの100年・そして現在」〕



RI 会長代理

久世 晴雅

(大宮中央)

こんにちは「ワールドクラス」ロータリークラブの会長・幹事の皆様

ご紹介頂きました。このたび、第2680地区の地区大会会長代理をご指名いただきました久世晴雅です。

自己紹介をさせていただきます。

生年月日は、父 京都、母 広島出身で、私は東京の大森生まれ昭和15年11月10日生、今年満75才、丸尾ガバナーのひとまわり上です。プロフィールに出しておりますが、職業分類は造花製造ですが、父親の仕事を受けての2代目です。戦後、父親は軍需工場で秘密兵器を作っていたようで、終戦後、戦犯に問われるような仕事をしていたようです。戦後、職業がなくなり、東京銀座を歩いたら1本のバラの花をみつけ、これを造花にしたらどうかと考え、下職（内職）で製造をはじめ、その販売先は外国でした。その関係でこちらの神戸港から輸出はもちろん横浜港が主たる港でした。以来、私の身の半分はドルであります。

その後ホンコンフラワーを製造、香港、韓国から輸入販売しております。

現在は中国より輸入しており、まさしく後進国から先進国になりました。私は昭和50年（1975年）から、輸出から国内産業へと切り替え、市民会館、文化会館、ホテル、等が建ちはじめ、これからは舞台、イベント等にと現在に至っております。

ロータリー歴はプリントの通りです。

公職は、青少年育成さいたま市民会議会長で、市内164校の育成会のたばね、いじめ、不登校等取りくんでおります。その上部、県民会議では、県知事の補佐で副会長をしており、来週は中学、小学校卒業式に出席予定です。

埼玉県賢アイバンク協会は、ライオンズクラブ主体の献眼献賢ですが、ロータリークラブも協力しております。全国でも埼玉県だけが両者で行っております。

ライフワークのもう一つは、大宮駅東口協議会です。東日本中枢都市圏の中心としての大宮駅駅前をどのように開発して行くかということを検討しております。先日の参議院予算委員会で、安倍総理からもさいたま市の大宮を重点課題にしているとの返答も出ているようです。

さて、

再度こんにちは「ワールドクラス」ロータリークラブの会長幹事の皆様。

今月までのガバナーマンズリーター拝見してまいりました。丸尾ガバナーの挨拶、三木地区研修リーダーによる研修レポート拝見し、再度勉強させていただいております。また、この地区はノミネーまで含めて24人の方が健在でご活躍しておられることに敬服いたします。私も2770地区は27人です。そしてRIはロータリーコーディネーターを各ゾーンに配置し、情報を綿密に発行されており、この月信を開くことにより、すべて理解ができるという、最新の副読本であります。

また、公共イメージコーディネーター、財団地域コーディネーターからの情報で、新幹線に乗っている間勉強してまいりました。この地区はうらやましいと感じております。私はプロではありませんので、うまく話をすることはできませんが、経験から今まで学んできた、また教えていただいたことを限られた時間お話をさせていただきます。

## 「あなたの企業は大丈夫ですか」

私がガバナー就任時の公式訪問での冒頭の挨拶でした。1997-98年、19年前になります。1996年、バブルがはじけ、これからどのようなことになるのかわからない企業倒産が起き、先行き不透明な時代が始まりました。この状態は10年もたてば良くなるという方もおられますが、現在アベノミクスということで、良くなっていますか？私は何も変わらないと思っております。

ガバナー就任の2年前、1995年1月17日、兵庫県内約25万戸の住宅が全半壊、阪神淡路大震災、震源地淡路島、西宮、芦屋等、多くの人々の命が奪われ被災されました。心よりお見舞い申し上げます。当時のことを思い出しますと、私共の第2770地区、田中作次元RI会長がガバナー時代でした。大惨事により、どのようにお見舞いしたらよいか、当時こちらの地区、計馬ガバナーは私共にその現状を地区大会で報告されました。その年の地区大会は平常の半分くらいの予算に縮小し、開催したことを覚えています。また、5年前の昨日になりますが、2011年3月11日の東日本大震災で、私たちは「あたりまえ

でない世界を体験」しました。決して忘れてはいけないことです。

- ・電気がついてあたりまえ
- ・携帯電話が繋がってあたりまえ
- ・電池があつてあたりまえ
- ・コンビニ・スーパーに物があつてあたりまえ
- ・ガソリンがあつてあたりまえ、等々

このことから、経済・環境・コミュニティーをキーワードに次世代が誇れ、安心して暮らし、働ける場づくり、安心安全な災害に強いまちづくりの推進が必要ではないでしょうか。

日本のロータリーはこういう時こそ心を一つにして、日本の復興を支えなければならぬ、このロータリーというのは、人を助け、人の幸せを祈る大きな組織なんだということを改めて実感することです。本日同行しております大宮シティロータリークラブは、地元の不用になった自転車2000台、私共の会社のライトバン1台を提供し、15日後に届けることができました。

余談ですが、私が地元で主催しております行事にアートフルゆめまつりという、街なかコンサートがあります。「みんなが作り手、みんなが主役」創造性あふれる豊かな音楽やアートで潤いあふれるまちづくりを目指して、地元の商店、企業、行政、各種団体との連携、協同を通して新たな文化を共に創り上げて、大宮の新しい顔となり、街を回遊する人々に新たな交流を育み、にぎわいを創出しますという企画で、市内15ヶ所のデパート前、銀行前、駅コンコース、商店街、広場、東光寺（お寺）でと、パレードを含め、同時多発的に1ステージ20分位演奏で150団体が出演しております。このような催しを今年も5月8日に開催しますが、9年前この企画について私共へ若者が尋ねてきて、言いました。30代の若者です。「大宮の街、このままでは活性化されません。大宮駅は新幹線の結接点で、東北、上越、山形、秋田、北陸、3月26日には北海道新幹線の開通です。若者や年老（寄り）の方々、憩いと安らぎをもつ大宮へ行ってみたい街づくりをしたい」と。私は若者に言いました。「（私を）ハシゴに乗せて、あとは知りませんにしないことを約束すれば」ということで発足して、今年で9年目です。そのリーダーは阪神淡路大震災のとき20代でボランティアをした仲間でした。若者は育っております。

次に、ロータリーはなぜ100年も続いたのでしょうか。

#### ❶ 奉仕の理念が確立されている。

友情を深め、自分の職業に自信をもつ、そして国際人であること、根本は職業に自信を持ち、奉仕の理念を持って運動してきたのが第1の理由です。

#### ❷ 第2は、職業奉仕を徹底してきたこと。

職業を通じて社会に貢献し、人の役に立つことをしてきたことです。

少し現在の世の中を見てみましょう。

- ① 横浜のマンションの杭打ち問題。あの大手の建設会社が、ビルが傾くまで黙っている。
- ② 東洋ゴムの耐震
- ③ 東芝の財政
- ④ NHKのクローズアップ現代のやらせ
- ⑤ 有機肥料
- ⑥ 廃棄処分したものを再販する

このようなことを私たちロータリアンがしていたら、夜も寝られない毎日ではないでしょうか。まさに職業倫理の原点で、見直す必要があります。

私の経験から、職業を通じて社会に奉仕する、この実践を報告します。それは私のガバナー時代、同期の当地区故 松下克巳パストガバナーよりご紹介していただきました事です。現在も三田RCでは実施されておられますが、中学生のトライやるウィーク、職場体験学習をされているというお話でした。早速地元へ帰り、教育委員会へその報告をし、三田市へお伺いして、そのノウハウをお聞きして現在では埼玉県内、私の地元さいたま市の中学生に採用し、名称「未来くるワーク体験」として実施中です。中学生の社会体験事業です。

私はプロフィールにも載っておりますが、青少年の健全育成のために会長をしております。この事業には地区内ロータリアンの企業のご協力ですすめております。こちらに来る前（先週）27年度の報告会がありました。子供たちは「仕事をするとなつらいこともあると思うけど、楽しいと思えることで、プラスになる。」先生は、中学生の姿に「ハキハキと大きな声で挨拶ができて、非常に礼儀正しい、相手に良い印象を与えるので、ぜひそのまま続けてほしい」と二重丸の評価を与えていました。今回さいたま市中学校57校、参加数10533人、協力企業3180社でした。このことでいじめ、不登校等が解決し、社会のこと、人のためになること、達成感が得られ、ほめられ、自信をもつことができたと言っていました。

話はそれでしたが、

#### ❸ 3番目はロータリー財団です。

会費の中からの財源ではなく、会費以外に奉仕のためのお金を皆様方が提供していただいていることで、ロータリー財団が営まれております。

国際ロータリーの使命は、「職業人と地域社会のリーダーのネットワークを通じて、人々に奉仕し、高潔さを奨励し、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることである。」となっております。

そして、ロータリー財団の使命は、「ロータリアン

が、健康状態を改善し、教育の支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善・平和を達成できるようにすることである」となっています。

まさに「奉仕を通じて平和を」の達成です。

グローバル補助金の使途は、6つの重点分野に限られています。すなわち、①平和と紛争予防・紛争解決、②疾病予防と治療、③水と衛生、④母子の健康、⑤基本的教育と識字率の向上、⑥経済と地域社会の発展です。是非、補助金を活用してください。

#### ❹ 4番目は人事が単年度であることです。

他の団体では何年も続けている会長がおられますが、マンネリ化してしまいます。ロータリーは違います。1年で仕上げていきますよね。会長さんはなんとか自分の年度内に事業を仕上げようと、その年度の会長さんが燃えて活動します。先ほど言いましたが、何年も同じ人では続きません。

尼崎 吉田会長さん、来年も続けてみますか？ 尼崎北 宮本会長さん、お若そうな宝塚 西野会長さん、神戸西神 大西会長さん、どうでしょうか、もう一年やってみますか？ 単年度であったということが、継続の理由の一つであろうと思います。

続いて、ロータリーの危機についてお話しします。今まではロータリーの危機が何度かありました。当地区のパストガバナー、私の直前時代のガバナー田中毅さんが、ロータリーの危機として記されておられます。その危機をロータリアンの英知によって克服しながら現在まで生き延びてきたという歴史的な事実があると。4人で始めたクラブは1908年には200人まで成長しました。

**シール（保険）**：最初の会合の時に、ハリスがどのように私に言ったことを覚えている。「やあ、シール君、明日の晩私の事務所に来てもらえないだろうか。我々がこれから発足しようとしている新しいクラブについて話し合うために、ちょっとだけ会いたいんだが。それはブースター組織の一種みたいなものなんだが、我々自身を押し上げようとするのではなく、我々のお互いが他の仲間を思いやろうという考えを持ったものなんだ。」

**ショーレー（洋服）**：人々が私の店に集まってきて、彼らの服を作るために、時間外勤務をしなければならないほどのたくさんの新しい友人ができるという彼らの考えは、とても素晴らしい提案として私の心を打ったので、ぜひその勘定の中に私を入れてくれるように頼んだ。

**ロアー（鉱山技師）**：最初の集会は私の事務所で催された。その時、ハリスは、一人の人が、自分自身やお互いのために働き、高め合うことができる2-300人の素晴らしい友人を持つことが可能な計画について話し始めた。

1905年当時におけるロータリーの独特な意義は、今日と同じようなものであり、会員同士の親密な付き合いを通じて親睦と利益を増進することを共通の目的として、事業と友情の両面から打ち溶け合った、実業家と専門職業人の社交クラブを目指すというものであった。

当時はこんな例会案内通知でした。

ロータリアン各位

クラブの最初の例会は、新しい執行部のもとで、○月○日の夕刻、ストウッドフォードホテルの豪華な宴会場で開催されます。来訪者は7時30分から暫時着席できますが、諸君たちは友愛委員（現在のSAA）が手伝ってくれる例会前の社交と取引上の知己を増やす機会を利用するために6時30分かそれ以前に来る方が得策であることを申し添えておきます。参加して、取引と喜びの機会を利用してください。

スタートはこのようなことでした。このように親睦と利益を増進することが共通の目的でした。

**最初の危機**は1906年～1910年に起きた「親睦と奉仕をめぐる危機」でした。親睦と相互扶助だけでは飽きたらず、社会奉仕の概念を導入しようということになりました。お聞きの通り、シカゴに公衆便所を建設したことが最初の社会奉仕です。

また脱線します。社会奉仕の実践事例です。私がRC入会まもなく、大宮駅前のデパートの前は放置自転車であふれていました。点字ブロックや歩行者に支障をきたしていました。その時、JCでしたら自分たちの行動で撤去運動してしまうのですが、RCはI serveですので、JCを使おう、地元商店街、行政を動かそうと考えました。まず合同会議を開催し、これから3色のカードを用意します。毎週白、毎週黄色、赤の3枚のカードで3色着いたら放置自転車とみなしましょう。周知して約1ヶ月半。たまった3色の自転車は市の土地へ運びました。利用者も理解しはじめ3ヶ月後にはなくなりました。その後どうしようか地元のロータリアンにお願いして、木を植えるかプランターを置くか話し合い、結果移動可能なプランターを設置し、その中の花の管理は地元の小学生にってもらう、その事により、親へも周知することができました。今でも毎週木曜日、全校生徒がホウキ、ジョロを持ち、管理しており、その功績が認められ、国交省、および文科省より表彰状が届いております。小さい頃からのボランティア、障害者に対する理解、環境（タバコの吸殻）問題まで、より良い活動が進んでおります。これもRCが提唱し実らせた行動です。

#### 第2の危機は、1922年～23年に起きた「奉仕活動の

**実践をめぐる論争**」です。社会奉仕活動をしていたが1917年に結成されたライオンズクラブの社会奉仕に刺激され、お金、労力等、財政的な問題でトラブルが発生、職業奉仕と社会奉仕派と分かれ、大論争になりました。そこで1923年の国際大会で「23-34」社会奉仕に関する声明が生まれました。ロータリーは、自己のために利益を得ようとする欲望と、他人に奉仕しようとする義務感とそれに伴う衝動との間に常に起こる争いを和解させようとする人生の哲学であります。この哲学は奉仕、すなわち「超我の奉仕」の哲学です。ロータリーの第1標語、He Profits Most Who Serves Best 「最もよく奉仕するもの、最もよく報われる」という実践倫理です。ロータリーはこの採択により成年に達したと言えるでしょう。

2012-13年 田中作次RI会長は、「超我の奉仕」単なる標語ではない。それは誰の人生をも、さらに豊かで、有意義なものにする生き方を示していると思います。ロータリアンは自分よりも他の人のニーズを重視します。自分のためだけではなく、社会全体のためを考えます。「超我の奉仕」という言葉は、人生で大切なこと、エネルギーを注ぐべきことは何なのかを私たちに教えてくれる言葉です。私たちは奉仕を通じて平和をもっと現実近づけることができるからです。「奉仕を通じて平和を」「どんな些細なことでも、人を助けることがいずれば平和につながることに気づきました」出来るときに財団、米山へ寄付をする、出来なくなったら誰かが助けてくれる。東京大震災、東日本大震災しかりです。

**第3の危機**は1929年に起こったウォール街の株の大暴落に端を発した、世界大恐慌から第2次大戦まででした。一時日本は国際ロータリーから脱会しましたが、第2次大戦後は再び国際ロータリーに復帰しました。

**第4の危機**は、1990年代に入ってから初期は会員が増え、クラブ拡大も順調でしたが、世界・日本でも1996年を境にして、会員減少の一途を辿り、21世紀に突入した現在です。国際ロータリーとしては大きな危機感を持っております。

当時1997年4月末、当地区2680地区、72RC、4178人（内女性12人）、現在2015年12月、73RC、2856人（内女性106人）1322人の減少です。

このように危機が訪れる中でロータリーは100年間生き続けてきたのです。今皆さん方には是非お願いしたいことは会員増強です。会員を増やさなければロータリーは続きません。皆さん、それぞれどなたかに紹介されてロータリーに入会されました。ですからそのお礼に皆さんもどなたかをロータリーに紹介してください。こうした会員増強があるからこそロータリーは今まで続いてきたのです。会員増強と拡大はロータリーの活力源です。

この目標を達成するうえでの障害はなんなのでしょうか。

- 1) 一般の人々がロータリーを誤解していること。昼飯を食べて、お金持ちのエリート集団、寄付団体と。
- 2) 現会員が新会員推薦方法を知らない。現会員の再度ロータリーとはと勉強すべきかもしれません。月信、クラブ会報はどうしていますか。そのまま机の上ですか。職場へ持ち帰って皆さんが集まる所へ置いておく。家庭へ持ち帰って家族の人が読めるように置いておく。家族、社員は例会を知っていますか。奥さんは知っていますよね。背広、ネクタイ、靴を用意してくれていますか。いつてらっしゃいと声をかけてくれていますか。
- 3) 新入会員が入会してきたら、歓迎会をして、その人たちにロータリーの感じた事を聞いて、良かったら紹介してくれと頼んでみる。
- 4) 例会は
  - ① 楽しい、この次は何をするのか楽しみに
  - ② プログラムの充実
  - ③ 意義あるロータリーを望みます
  - ④ ロータリアンが誰一人、例会を欠席したくなくなるようなロータリー
  - ⑤ クラブ、地域社会、私たちの世界で意識を喚起し、進んで行動を起こすロータリー以上、すべては私たちにかかっています。

終了時刻がまいりました。早口でしたがお聞きくださいましたでしょうか。この後、北清治RI管理委員、直前RI理事のお話があります。私の足りないことを補充していただければと思います。会長幹事の皆さん、任期はあと3ヶ月少々です。事業の集大成に入ってください。そして4月1日まで達成完了しましたらRI会長賞へエントリーしてください。

詳しくは、月信マンスリーレター1号に掲載されております。ご活躍を祈ります。ご清聴ありがとうございました。